

加美町 地域おこし協力隊



VOL. 8

【12月～2月の主な活動報告】

○加美町のおもてなし、郷土食といえば・・・

協力隊として加美町に来てから、「おもちは何きき？」と聞かれることがたびたびあります。好きですと答えると、皆さん笑顔になってくれるのが印象的でした。

昨年12月の協力隊定例会にて、おもちには何を付けて食べるかという話題になりました。尾形隊員が「納豆」と答えたのに対し、驚いた表情を見せた北川隊員。出身の長崎県ではそのような食べ方はない！と衝撃を受けていました。調べてみると、「納豆もち」は東北地方（山形・宮城・秋田の一部）独自の食べ方なのだとか。

宮崎町史を開いてみると、「郷土の香り最も濃厚でも第一指に数え上げられる郷土食といえどもちである。」と書かれているほど、おもちには加美町にとって関わり深い食べ物であることが分かりました。今でも、お祝い事や農作業の節目におもちをつくる習慣があるそうです。

そこで、おもちについてもっと知りたいと、町内の「米澤屋」さんを取材させていただきました。創業は1992年。加美町産の自社米「みやこがね」を使っておもち、あんこ・ずんだ・くるみ・ごま・納豆と種類が豊富です。一番のおすすめの食べ方は、米の味を堪能できる「そのまま」だそうです。現在はコロナ禍のため臨時休業中ですが、様々な種類の切り餅や大福等も販売されていますので、ぜひ味わっていただきたいです。



また、佐々木隊員イチオシの「あさりん」さん。花楽小路商店街にあり、創業は1950年で、現在3代目のご主人が営んでいます。お団子とワッフルが有名で、この味を求めて県外からもお客さんが来るそう。お店には町の観光パインフレットなども置いてあり、加美町をPRしていただいています。お団子は、あんこ・ずんだ・しょうゆ・ごまの4種類。ご主人いわく、食べ方のポイントは「お団子は2つ目まで縦で食べ、最後は横から。」これは、口周りを汚さず食べられるからだそうです。お忙しい中、取材にに応じていただいた皆さん、ありがとうございました。

加美町には、まだまだ美味しいお店やおもち屋さんがあります。今後も、引き続き「加美町の美味しい！」をご紹介しますので、皆さんお楽しみに。

○神社清掃

12月9日（木）、加美町にある賀美石神社の清掃をお手伝いさせていただきました。

賀美石神社のご神体の石は、今年度「加美町世間遺産」に認定され、この世間遺産の選考に、協力隊も関わらせていただきました。

賀美石神社の「賀美」は、「加美」の元の漢字でもあり、町内で一番歴史が古いとされる神社です。敷地内には、独特な表情の狛犬や、宮城県で11番目に大きいとされる「天王様の大杉」という杉の巨樹もあります。

隊員は、本殿の周りを掃除させていただきましたが、管理をされている小林さんと地域の方々が定期的に清掃しているとのことと、とてもきれいに整備されていました。小林さんにお話を伺うと、神社の歴史を知る人は少なく、多くが謎に包まれており、この賀美石神社が加美町の名前のルーツではないか、と地元では言い伝えられているようです。

皆さんも賀美石神社に足を運んで、その神秘的な空間に身を置いてみませんか。



○スノーシュー体験



皆さんはスノーシューを履いたことがありますか？「西洋かんじき(ワカン)」とも呼ばれ、ふかふかの雪の上を歩く際、足が深く沈まないようにサポートしてくれるトレッキングアイテムです。

今回は、尾形隊員と楊隊員の2名が加美町観光まちづくり協会主催の、「スノーシュー体験」に参加しました。体験内容は、スノーシューを履いてやぐらい登山に挑戦するというもの。過酷なイベントにも思えましたが、景色を楽しみながらゆったりとしたペースで登ったため、参加者全員が無事に登頂することができました。協力隊の2名は、最後に尾から参加者を見守りつつ、転んだ方のサポートをしました。晴天に恵まれたおかげで、頂上からは大崎平野を一望することができ、雪原の白と居久根(いぐね)の黒のコントラストが大変美しかったです。参加者からは「また参加したい」との声があり、来年度もこのような冬のイベントを積極的にサポートしていきたいと思いました。

地域おこし協力隊 隊員活動報告

きたがわ ひかり
北川 日香里(2年目)

楽器に触れ、向き合う日々でした

1・2月は、「楽器まとめて点検キャンペーン」を行いました。キャンペーンでは、町内外の学校を対象に、修理したい楽器5本以上を点検することで、修理の際に修理価格から15%が割引になります。このキャンペーンは昨年度から実施しており、好評につき今年度は対象地域を拡大して開催しました。

最初に受けた依頼では、点検する楽器の総数が70本にもつぼり、見落としがないよう一つひとつ丁寧に点検しました。古いメーカーの楽器や、あまり使われておらずホコリが沢山ついている楽器、キイが動かない楽器など原因は様々です。

随時、点検を承っておりますので、学校はもちろん、一般の方もご自身の楽器のメンテナンス(有料)をしてみてはいかかでしょうか。お気軽にご相談ください。

※一般の方は15%割引対象外です。



メンテナンスがいかに大事か改めて感じました

よう さいよう
楊 采容(2年目)

冬の加美町でも生き生きと活動しています！

周りの方からよく、「楊さんそろそろ雪に飽きましたか」と聞かれますが、私は雪が大好きなので全然飽きることなく、冬を楽しんでいます！

今回初めて屋根の除雪をしました。雪をちよつと動かせば、自然に落ちてくれると思っていましたが、全然落ちず、通常の雪かき同様、体力が削られました。

先日、台湾人旅行団がモニタリングツアーで加美町を訪れました。皆さんが加美町で楽しんでる様子を見てみると、任期中に外国の方をガイドしたいという気持ちが強くなりました。

最近、加美町ワーケーションサイトの翻訳をしました。日本語から中国語に翻訳するのは想像以上に難しく、直訳するだけでは不自然な文章になってしまっているので、読み手にとって文章が自然と頭に入るよう気を付けながら翻訳しました。「Kamiii (カミイイ)」にて公開されていますので、是非ご覧ください！



初めて屋根に登って除雪しました！

おがた しゅうと
尾形 秀斗(2年目)

冬の加美町食べ歩きスタンプラリー開催中！

新年の始まりとともに、1月4日から加美町観光まちづくり協会主催「冬の加美町食べ歩きスタンプラリー」がスタートしました。このイベントは、昨年まで開催していた「ラーメンロード加美町」に代わるイベントで、ラーメン店に加え、他の飲食店も含めた計20店で開催しています。

私が特に力を入れているのが、イベントを盛り上げるための「情報発信」です。協会のSNSを活用し、参加店の情報を更新しております。イベント開催期間中に全参加店の情報をアップすることを目標に、情報収集を行っています。スタンプ5つ以上で応募できますので、町内の飲食店を巡りながら気軽にチャレンジしていただければと思います。

一段落したら、次年度の事業の準備に取りかかる予定です。火伏の虎舞や世間遺産と絡めた事業の企画、飲食店マップの作成などすることはたくさんあるので、計画的に準備を進めていこうと思います。



加美町スタンプラリー開催中

もり ひかる
森 耀(1年目)

色々な作物の栽培計画を立てています



一つひとついねいに、袋詰めしていく。しかし、効率性も重要。

皆さん、こんにちは。任用されてからこれまでの期間、アグリ神明の活動として米と大豆を作ってきました。11月で作業も一段落し、12月からは新年度に向けて、様々な計画を立てる期間となりました。

稲作とは別に取り組んできた「ビニールハウスでほうれん草栽培」は、残る1ハウスの半分の収穫を待つだけとなっています。冬は雪で日照時間が確保できないことから、その成長は本当に少しずつですが、この春までに全部収穫が終わる予定です。

さらに、この春から露地でのほうれん草栽培を計画しており、稲作の栽培計画とは別に園芸の栽培計画も立てながら、冬期間を過ごしています。資材や作業手順、機械の導入など考えることはたくさんありますが、楽しみながら引き続き精力的に取り組んでいこうと思います。

さ さ き しゅう
佐々木 翔(1年目)

冬の間はネギの皮むきや種まきをします

今年の加美町は「例年にも増して雪深い」と皆さんがおっしゃる通り、道路や駐車場に溢れる雪に、四苦八苦しております。

一面雪で覆われた畑では収穫は出来ません。私がお世話になっているタカノ産業では、11月後半から12月にかけて収穫したネギをハウスに埋め直し、出荷に合わせて、皮をむき調整しています。また、春に定植するネギの種まきも手作業で行っています。

これは本当に細かい作業で、耳かきで種をポットに入れていくというものです。

冬季間も継続して仕事をつくることは、まさに私が目指す、雇用を生み、地域活性化に寄与する農業の形そのものでした。ネット情報だけでは分からないことの連続で、理想や夢ばかりの私に、確かな知恵を与えてくださる今の状況に甘んじることなく、日々精進しなければと改めて感じました。



手作業での種まきセット
(耳かきで指定の数を入れます)

○協力隊 OB・OG からのお知らせ

【リロカリコクリ株式会社】

サテライトオフィス Mow-Mow (モウモウ) 完成しました！



牛舎だったとは思えないオシャレな外観

協力隊 OB の米津岳さんが、「リロカリコクリ株式会社」を設立して1年。ついに、空き家活用事業としてサテライトオフィスが完成したとの話を聞き、さっそく取材させていただきました。

サテライトオフィスとは、首都圏や都市部の企業が、加美町でテレワークやワーケーションができるよう整備した施設です。モウモウは、これまで30年以上使われていなかった「牛舎」を改築し、宿泊のできる貸しオフィスに生まれ変わりました。

オフィス内は、木の温もりを感じられる内装となっており、ネット環境も整備され、テレワーク室とシェアオフィス、そして会議室があります。テレワーク室には、ベッドやユニットバスが設置されており、宿泊することも可能です。シェアオフィスは、2名ずつ

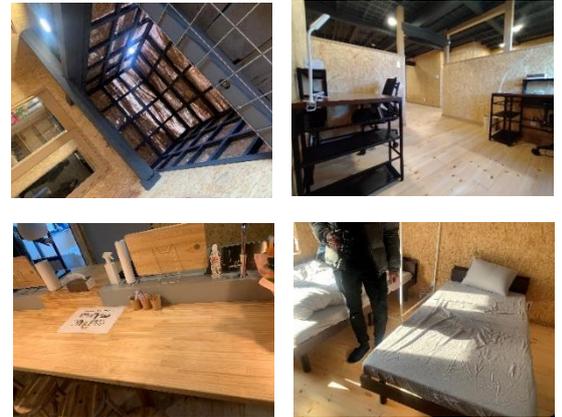
間仕切りされた半個室の事務スペースで、壁側に机が設置されているため、集中して仕事をすることができま

す。その他に、共用で使えるアイランドキッチンや洗濯室等があります。

玄関ホールの天井は少し吹き抜けしており、見上げると藁（わら）が敷き詰められているのが分かります。この藁は30年前から牛舎にあったものを使い、敷き詰めることで断熱性を保っているとのこと。

牛舎の面影を残しつつ、今の環境に適した温もり溢れるオフィス。ぜひ皆さんも利用してみてくださいはいかがでしょうか。

サテライトオフィス「モウモウ」の詳細は、リロカリコクリ(株)公式ホームページ、またはインスタグラムをご覧ください♪



○毎月定例会をおこなっています

加美町地域おこし協力隊では、毎月隊員と役場担当者が集まり、各々の活動報告や今後の活動計画の検討・研修等を行っています。隊員同士のコミュニケーションを図りながら、加美町の様々な魅力に触れ、深く考える良い機会です。

1月は、リロカリコクリ株式会社のサテライトオフィス内会議室をお借りし、オンライン会議を行いました。普段は役場の会議室で行うのですが、サテライトオフィスを利用してみると、静かな空間と木の温もりが相まって落ち着いて話し合いをすることができました。



3月になりましたが、まだまだ寒いですね。今シーズンも加美町では雪がたくさん降りました。

皆さん、雪遊びはしましたか？雪だるまやかまくら、雪合戦など雪が多い土地だからその遊びが多くあります。私も、雪かきをしながら雪だるまを家の前に作りました！たまには童心に帰るのもいいなど感じたところ冬の日でした。

H・K

編集後記

【発行元】

加美町地域おこし協力隊瓦版

〒981-4292

加美町字西田三番5番地

ひと・しごと推進課

0229-63-5611

制作・編集 地域おこし協力隊 北川